

埋炭屋

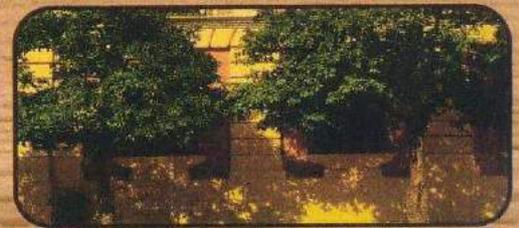


埋炭を行うとその半径15mほどの範囲が浄化され、マイナスイオンを発生しその上に建てられた住まいを活性化します。埋炭の効果は年月ともに増し半永久的に続きます。



マイナスイオンは、病気や老化を引き起こす活性酸素の増大を抑制するのに大変役立つもので、血液の浄化や免疫力の増大、細胞の新陳代謝、自律神経の調節などに効果があるといわれています。

埋設した木炭がマイナスイオンを発生し
健康な住環境空間を創出します。



山や滝の周辺の空気が爽やかで美味しいのは、マイナスイオンが多く発生されているからです。又、森林浴が心身によいのは、樹木から多くのマイナスイオンが発生されているからです。

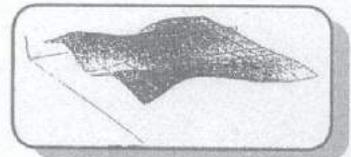
埋炭が良い理由

木炭の電気特性の活用…埋炭法

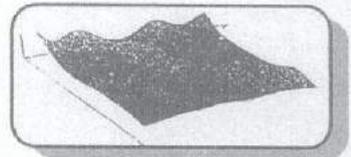
木炭は電氣的に半導体の域にあり、備長炭のように高温で炭化しますと、電気抵抗はどんどん下がります。この出来るだけ電気抵抗の少ない木炭粉粒を住宅敷地の一角に埋めることにより住宅環境空間を健康域に変換します。

埋炭するだけで住空間環境が、どうして健康域になるのでしょうか？

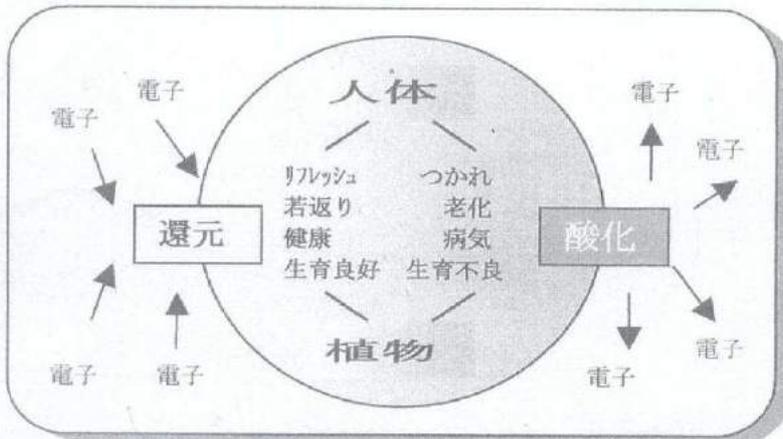
筑波大学・生物農林系、橘 泰憲先生は長年この埋炭法を有機農業に活用して、安全で美味しい農産物を研究されています。大学の研究圃場で次の要領で埋炭を実施、詳しく計測されました。具体的には 3.5m×3.5m の格子の交叉点に電位差計をいれ、地上部と地下 50cm との間の電位差を計測。その測定値をもとにコンピューターで画像処理したものが右図です。図で低くかつ黒くみえるところは電位差が小さいか、地上部のほうが電位の低い酸化電圧のためここを中心に半径 15cm 程度に埋炭を施工。その直後の状態が (a) です。時間の経過とともに (b) の通り高低差がなくなり、安定した還元電圧になったことがわかります。



(a)炭素埋設処理直後



(b)炭素埋設処理6ヶ月後

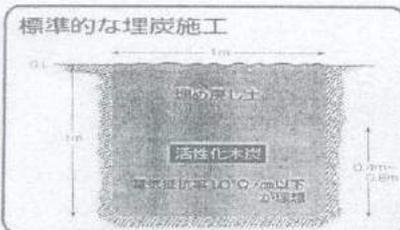


一般に電子を受け取ると『還元』といい、電子を放出すると『酸化』といいます。左図に示すように、人体が電子をもらって還元されると、細胞がリフレッシュし、老化を防ぎ、若返り健康となります。

標準的な埋炭施工

波動周波測定器にて周波数を測定しながら、直径 1m、深さ約 1m (周波数測定の結果より決定) の穴を掘り、300~500 リットル程 (度投入量は周波数測定の結果による) の木炭 (電気抵抗率 $3\Omega \cdot \text{cm}$ 以下) を埋め、表面を土で埋めもどします。

※ 3~5 ヶ月で住環境空間が健康周波数に変換されます。



実際に埋炭施工したデータ

地表微弱超低周波 (ヘルツ)
 健康波長域 0~9.5 ヘルツ
 疲労波長域 12~18 ヘルツ
 病気波長域 19~23 ヘルツ

実測値
 埋炭前 …… 平均波長 20 ヘルツ
 有害波長 (12~23 ヘルツ) 大変多し
 埋炭後 …… 平均波長 13 ヘルツ
 有害波長 (12~23 ヘルツ) 殆どなし
 健康波長 (0~9.5 ヘルツ) 大幅増

炭素埋設作業手順

1. 直径 1m、深さ 1 m程度の穴を掘る
2. 木炭を約 1 / 3 程度を投入
3. たっぷり散水
4. 突き固める
5. 2~4を3回くりかえす
6. 土を 1 / 3 程度埋め戻す
7. しっかり突き固める
8. 再び土を 1 / 3 程度埋め戻す
9. たっぷり散水する
10. 土を完全に埋め戻し表層部に堤防を作る
11. たっぷり散水し水を染み込ませる
12. 完了





炭素埋設により住宅環境を マイナスイオンリッチにする方法

はじめに：生命と電場・磁場との関係

(I)：檜崎皇月先生の実測調査と研究成果および地電位調査手段

(1)：計測方法（その1．計測値と作物の成育状況）

(2)：計測項目

(3)：計測総数及び面積

(4)：計測結果と植物の成育状況

(5)：ヒトと動物の居住地

(6)：神社・仏閣の計測

(7)：地電位を改善し調整する手段

(8)：最近の動き

(II)：ヒトの健康問題との関連

(III)：炭素埋設に最適な炭素の種類

(IV)：具体的な木炭埋設による宅地全体のイオンリッチ化法

生命の立場からみた当法の効能

はじめに：生命と電場・磁場との関係

生命が誕生してから約35億年。以後ずっと地球の電場・磁場の洗礼を受けて、生命がはぐくまれ、進化してきた。

地球内部では自励発電が行われているとされ、それに伴って次図のような強力な磁力が発生している。

生命体は、発生以来常時この電場・磁場にさらされ、それらを有効に取り入れることにより、自己の活力を維持し、その生命の存続に利用してきた。

また、自身の体内でも微弱な発電を行い生体を維持している。

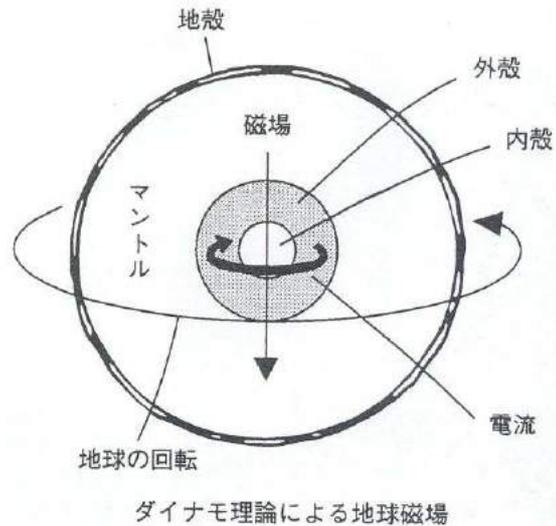
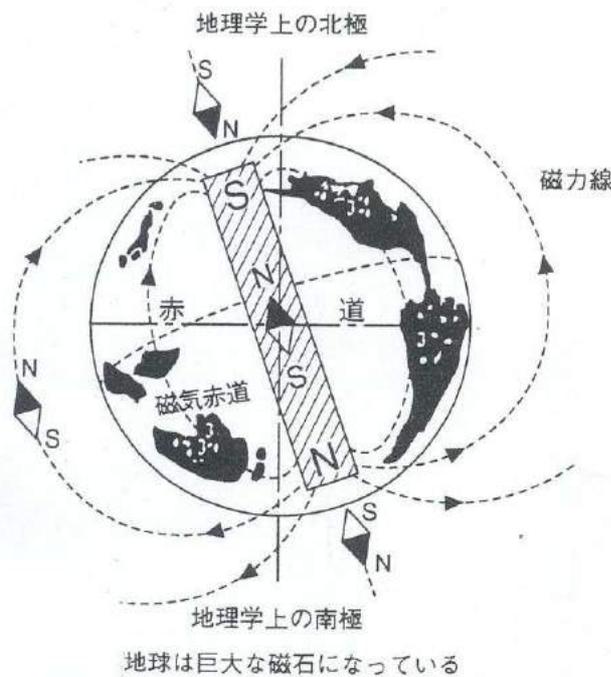
ここでは、これらの電場・磁場がヒトの健康や植物の生育に如何に役立っているか検討したい。

電流が流れているところには必ず磁場があり、また磁場のあるところには必ず電流が流れている。

したがって地球の表面にも微弱な電流が流れていてこれを一般に大地電流とよぶ。

この大地電流の流れ方及びその強弱がヒトを含む生命体にどのような影響をもたらすかという問題を膨大な実測数をもとに統計的に調査した天才的な物理科学者がいた。

その名は檜崎皇月先生といい、昭和30年にその成果の一部を新しい農業技術の開発の一環として「植物波農法」を発表、その後人間の病気を治し、健康を増進させる「人体波健康法」を、食品の味を良くし物質の

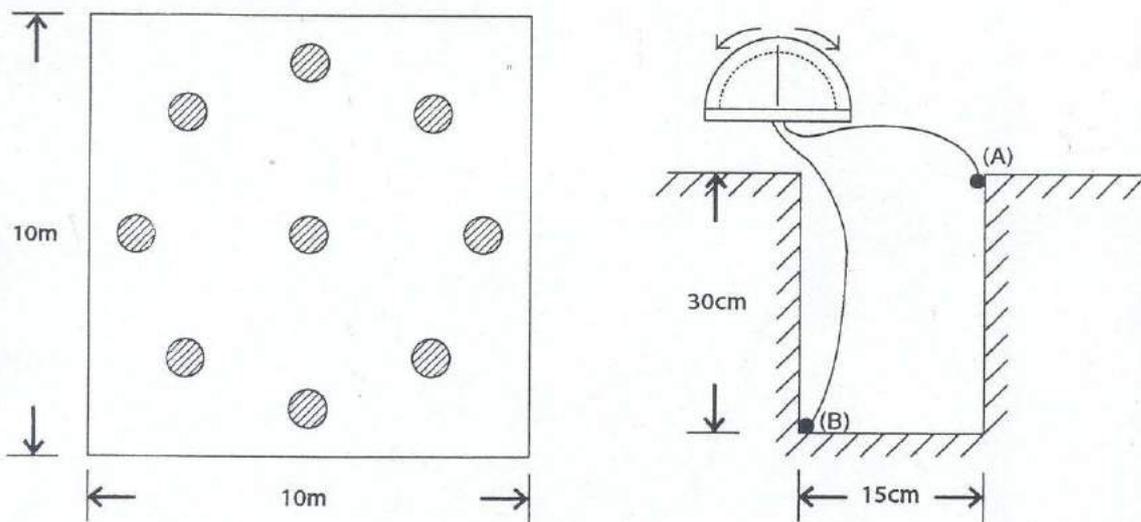


性質を良い方に変える「物質変性法」を完成させた。

これらをあわせて榎崎先生グループでは「静電三法」と呼んでいる。

(I) 榎崎皇月先生の実測と研究成果及び地電位調整手段

(1) 計測方法 (その1. 計測地と作物の生育状況)



・調査単位面積1アール (10m×10m) に15cmφ30cmの深さの穴を9ヶ所、上図の如く掘る。

・一穴の大きさについては予備計測の結果 (深さ5cm・10cm・30cm・1m・10m) 生物、特に植物生育のためには30cm深さと地表との値をみればよいということが判明。

(2) 計測項目

イ. 上下の地層間 (すなわち (A)・(B) 間) に流れる電流方向と電流値の計測。微弱電位差計 (10⁻⁸ボルト以上)

ロ. 酸化還元電圧値の測定

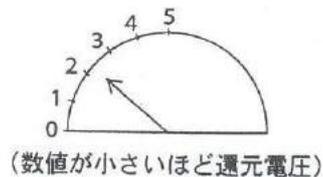
三V加圧標準電池、白金電極使用数値換算表によってみる。

ハ. 9地点間の電位差

9地点間及び広い地域の電位傾斜をみる。

加圧電池を利用（地表面の電位差をみるだけであるので六V以上でもよい）

ニ. (イ) (ロ) (ハ) の測定値と植物成育状態の観察。



(3) 計測総数及び面積

- ・計測総数 全国 12,145ヶ所
- ・計測総面積 約 121ヘクタール
- ・計測期間 約 3ヶ年

(4) 計測結果と植物の生育状況

- ・優勢成育地帯 1,821ヶ所（約15%）12.7ヘクタール（約10.5%）
地表層は還元電圧を示し、電流方向は下から上へは全く流れない地帯。植物生育はすこぶる良好。
- ・A型標準地帯 6,315ヶ所（約52%）62ヘクタール（約52%）
地表層に酸化電圧と還元電圧の小区画が混在電流も上から下へ、下から上への区。
- ・B型標準地帯 364ヶ所（約3%）5.3ヘクタール（約4%）
A型によく似ているが酸化還元電圧値がAにくらべてその差が小さく電流値の差も小さい。
- ・C型劣勢地帯 3,410ヶ所（約28%）36.3ヘクタール（約30%）
地表層の殆どが酸化電圧。植物は生育不良。
- ・D型劣勢地帯 242ヶ所（約2%）37ヘクタール（約3%）
電流方向は不定。一寸離れた所でも酸化還元が異なりたえず変化している。植物の生育は不良。

(5) ヒトと動物の居住地

15cm 深さ30cmの穴を複数個掘り計測。

- ・ヒト 計測個所 60ヶ所
24ヶ所（40%）…優勢地帯 健康的で病人がいなかった。
36ヶ所（60%）…劣勢地帯 病気がちの人が多かった。
- ・養鶏場 計測個所 9ヶ所
18ヶ所（20%）…優勢地帯 産卵率高く病鶏がない。
72ヶ所（80%）…劣勢地帯 産卵率不良。
- ・牛舎関係 計測個所 45ヶ所
6ヶ所 … 優勢地帯
39ヶ所 … 劣勢地帯
- ・豚舎関係 計測個所 69ヶ所
21ヶ所 … 優勢地帯
48ヶ所 … 劣勢地帯

(6) 神社・仏閣の計測

- ・ 神社 計測総数 18ヶ所すべて優勢地帯
- ・ 寺院 計測総数 27ヶ所
 - 21ヶ所 … 優勢地帯
 - 6ヶ所 … A型標準地帯



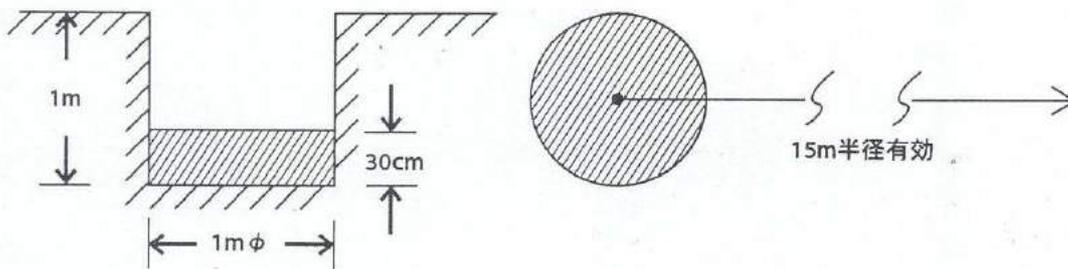
(7) 地電位を改善し、調整する手段

劣勢地におけるヒトや動物の不健康、及び植物生育の改善のために榑崎グループが種々実験を行った。そのなかで最も効果的であった方法が下記のものである。すなわち大地に賦存する電位構造を変化させるために穴を掘り、大地に損傷電位を波及させて、かつこれを安定化させるために炭素質を埋設することである。

この手段はもとより局地的な小区域の電位を変えることであり広範囲の地表面を一変させることは不可能で埋設地を中心に半径15~20m程度、ただし有効期間は現在のところ半永久的である。

また、炭素埋設以外でも井戸を掘れば同じような効果が期待でき、本件についてアメリカの科学誌「サイエンス」1988年11月号「アモルファス半導体超格子」にも紹介されている。

実験の炭素埋設の一例



- ・ 穴の大きさ : 径1m 炭素充填 30cm 深さ
- ・ 炭素質 : 別途検討
- ・ 穴の埋戻し : 炭素質充填後掘った土で埋めもどす
- ・ 有効範囲 : 半径15m程度
- ・ 炭素必要量 : $1\text{ m} \times 1\text{ m} \times 3.14 \times 0.3 / 4 = 0.24\text{ m}^3$ (240 l)

比重 0.35 程度とすると

$240\text{ l} \times 0.35\text{ kg} / \text{l} = 84\text{ kg}$

比重の差があってもせいぜい100kg程度の炭素があれば十分ということになる。

(8) 榑崎皇月先生が研究された当理論は、最近になって急に脚光をあげつつある。徐々にではあるが追加研究が進められてきたことと、ヒトの健康問題にまで大きく関連することが判明してきたからである。

地表・地下(-30cm)間の電位差は、工学的には全く無視される程度の微小電位(マイクロボルト)、微弱エネルギー差ではあるが、ヒトや動物の生理活性、植物の生育生長にとって重要な関連をもつ因子である。

(II) ヒトの健康問題との関連

最近、大気中のイオンバランス、特にマイナスイオンがヒトの健康に役立つことが経験的に立証されつつある。

いろいろな大気イオン測定器が開発され、各地の計測が可能となってきた。これによると都会での騒然たる空間には、イオン全体量も少なく、かつプラスイオンの方がマイナスイオンより多い。ところが森林のなかや、温泉地では、都会とは反対にイオン全体量が多くマイナスイオンの方が多い。

このことは一体なにを指しているのだろうか………？

榊崎皇月先生が膨大な費用と長時間かけて研究された領域とこの大気中のイオンとは全く同じ範ちゅうに入るものではないかと思われる。

榊崎理論では(A)と(B)の電位差が大きければ大きいほど優勢地帯であり、これはイオン全体の量が多いことになり、また電子又はそのキャリアとしてのマイナスイオンが多いことにもなる。

医学界からも次の現象が指摘されている。

- (1) 循環系では健康人でプラスイオン吸入により収縮期・拡張期血圧の上昇をみ、マイナスイオンで高血圧症患者の血圧をさげる。
- (2) 中枢神経系に対してはプラスイオンは交感神経系を興奮させマイナスイオンは脳波上0.5~0.15サイクル/秒の α 波を示しまどろみ・解放感を感じ、鎮静効果がみられる。
- (3) 代謝面ではマイナスイオンは基礎代謝や酸素消費量の低下をみる。

(III) 炭素埋設に最適な炭素の種類

A図は周期律表の一部を示す。周知のように周期律表は右上にゆくほど非金属製(絶縁性)が強く左下にゆくほど金属製(導電性)が強い元素が配列されている。炭素は代表的な半導体であるシリコン・ゲルマニウムと同じく中央に位置しこれらは4価の元素として金属と非金属の境界にある。

シリコン・ゲルマニウムはこれらの性質を巧みに利用して半導体技術が開発されエレクトロニクスへの道が開かれた。炭素そのものはB図の如く、ダイヤモンドのような絶縁物からグラファイトのような導電体まできわめてその結晶構造は多彩である。炭素を主成分とする木炭も例外ではなく、その乾留温度を調節することによりその結晶構造を任意に変化させることが可能である。

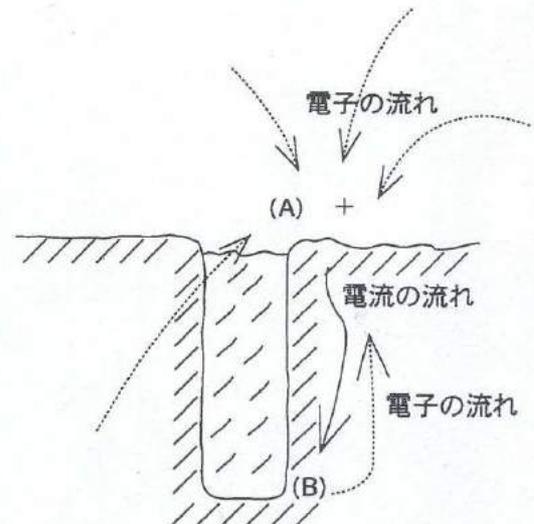
マイナスイオンの差異

●地域による差異

場 所	マイナスイオン	プラスイオン
山間地	682	670
郊 外	230	270
都 内	101	150
オフィス	38	43
郊外の居室	114	170
クーラー室	56	70
工 場	53	73

●場所による差異

場 所	マイナスイオン
東京 日比谷	101
東京 新宿	61
東京 丸の内	46
道後温泉	2208
別府温泉	1257
草津温泉	715
富士山八合目	800



一般的な黒炭のような絶縁物から白炭のような導電体に変化されることも可能である。乾留温度を調節することにより結晶構造が立体乱層構造でアモルファス構造的なものとなる。

炭化温度	電気抵抗。
℃	Ω
400	552×10^6
500	5.7×10^5
600	0.23×10^1
700	0.133×10^0
800	0.015×10^0
900	0.023×10^0
1,000	0.017×10^0
1,100	0.012×10^0

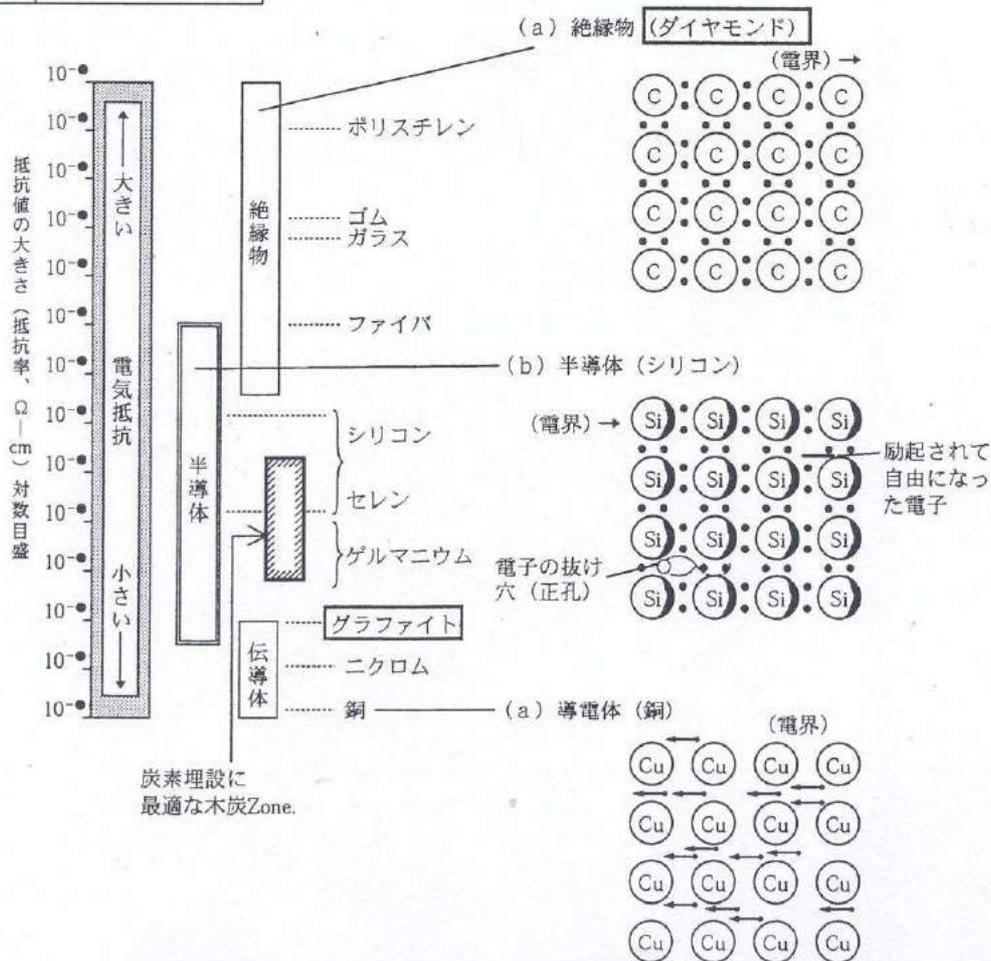
木炭には炭素以外に5価の元素窒素(N)・リン(P)等も含みまた3価の元素ほう素(B)・アルミニウム(Al)・チタン(T)等を無機成分として含むため精度が悪いが、大量生産可能な半導体としての性格をもたすことも可能である。ここで登場する炭素埋設法には理論上、この半導体性質をもつ木炭が最適である。

A 図

	金属性 ←————→ 非金属性							↑ 金属性
	I	II	III	IV	V	VI	VII	
2	Li	Be	B	C	N	O	F	
3	Na	Mg	Al	Si	P	S	Cl	
4	K	Ca	Ga	Ge	As	Se	Br	
5	Rb	Sr	In	Sn	Sb	Te	I	
6	Cs	Ba	Tl	Pb	Bi	Po	At	

木炭には炭素以外に5価の元素窒素(N)・リン(P)等も含みまた3価の元素ほう素(B)・アルミニウム(Al)・チタン(T)等を無機成分として含むため精度が悪いが、大量生産可能な半導体としての性格をもたすことも可能である。ここで登場する炭素埋設法には理論上、この半導体性質をもつ木炭が最適である。

B 図



(IV) 具体的な活性化木炭埋設による宅地・建物全体をマイナスイオンリッチにする方法 ——

一般的な宅地の場合 (Ⅲ) にあるような炭素埋設に最適な木炭を1ヶ所、多くても2ヶ所施行すればよいことになる。

例えば 敷地 約60坪の場合

有効：半径 15m

※ 下図の如く1ヶ所炭素埋設で十分である。

